

特定緊急輸送道路沿道建築物・モデルケース 計算例（補強設計）

○建物モデル

用途：事務所ビル 延べ床面積：9,000 m²

最低 Isx 値：0.25 最低 Isy 値：0.3

補強設計見積額：9,000,000 円（税抜）

○補強設計 助成額 1（区の助成）

（港区特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業実施要綱に基づく助成額）

（1）補強設計見積額 9,000,000 円（税抜）

（2）助成対象費用限度額 22,500,000 円

延べ床面積が 9,000 m²なので、（2）助成対象費用限度額は、

$5,000 \text{ 円/m}^2 \times 1,000 \text{ m}^2 + 3,500 \text{ 円/m}^2 \times 1,000 \text{ m}^2 + 2,000 \text{ 円/m}^2 \times 7,000 \text{ m}^2 = 22,500,000 \text{ 円}$

助成対象費用は上記（1）、（2）のいずれか低い額とする（助成対象費用は、（1）9,000,000 円を採用）。

助成額 1 は下記①～③を合計した額（1,000 円未満切捨て）とする。

① 助成対象費用×1/6 かつ 50 万円以内の額 ①=500,000 円
(9,000,000 円×1/6=1,500,000 円 > 500,000 円)

② ①+助成対象費用×1/6 ②=2,000,000 円
(500,000 円+9,000,000 円×1/6=2,000,000 円)

③ 助成対象費用×1/3 と ①+② のいずれか低い額 ③=2,500,000 円
(9,000,000×1/3=3,000,000 > 500,000+2,000,000=2,500,000)

①+②+③=500,000 円+2,000,000 円+2,500,000 円 = 5,000,000 円

⇒ 5,000,000 円（1,000 円未満切捨て）

助成額 1：5,000,000 円

○補強設計 助成額 2 (国の直接補助)
(耐震対策緊急促進事業補助金交付要綱に基づく助成額)

助成額 1 (5,000,000 円) の補強設計見積額 (9,000,000 円 (税抜)) に対する割合
 $5,000,000 \text{ 円} / 9,000,000 = 0.5555$

助成額 2 の助成割合は、0.5555 に 1/4 を乗じた割合とし、上限は 1/6 とする。

助成割合は、 $0.5555 \times 1/4 = 0.1388$ となる。

$(0.5555 \times 1/4 = 0.1388 < 1/6 = 0.1666)$

助成額 2 は、補強設計見積額に 0.1388 を乗じた額 (1,000 円未満切捨て) なので、

$9,000,000 \times 0.1388 = 1,249,200$

⇒ 1,249,000 円 (1,000 円未満切捨て)

助成額 2 : 1,249,000 円

※参考 (国の直接補助) 耐震対策緊急促進事業補助金交付要綱【抜粋】

2 要安全確認計画記載建築物の耐震化の支援に関する事業

一 本事業の補助金の額は、当該事業について次号に掲げる経費を合算した額に次式により算出した補助率 (1/6 を上回る場合は 1/6) を乗じた額以内の額とする。

補助率 = $A/4$

A : 当該事業に対して地方公共団体が社会資本整備総合交付金等を含め事業主体に対して行う補助事業の補助率

二 要安全確認計画記載建築物の耐震化の支援に要する次に掲げる事業

イ 要安全確認計画記載建築物の耐震診断に要する費用

ロ 要安全確認計画記載建築物の擁壁の耐震診断に要する費用

ハ 要安全確認計画記載建築物に係る耐震化のための計画の策定に要する費用

●補強設計 助成額 合計 (助成額 1 + 助成額 2)

5,000,000 円 + 1,249,000 円 = **6,249,000 円**